

	福島県		県中地域				須賀川・岩瀬地区				石川地区				田村地区			
	34週	33週	第34週		第33週		第34週		第33週		第34週		第33週		第34週		第33週	
	感染症動向	感染症動向	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報
インフルエンザ	11	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
咽頭結膜熱	21	21	3	0	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	0	1	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	69	30	4	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
感染性胃腸炎	64	14	16	1	0	0	16	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水痘	13	19	1	2	2	0	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0
手足口病	172	197	17	5	14	0	11	2	12	0	0	1	0	0	6	2	2	0
伝染性紅斑	28	16	8	1	3	0	3	1	1	0	0	0	0	0	5	0	2	0
突発性発疹	30	20	4	0	1	0	3	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
ヘルパンギーナ	43	44	0	0	6	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性耳下腺炎	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
RSウイルス感染症	125	139	14	0	20	0	11	0	20	0	0	0	0	0	3	0	0	0
急性出血性結膜炎	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	9	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【感染症発生動向調査】 ※定点医療機関からの情報をもとに集計 【学校欠席者情報】 ※保育園、幼稚園、小中学校、高等学校の欠席者情報です。

県中地域の状況

- 流行中 現在、手足口病・RSウイルス感染症・伝染性紅斑の流行が見られています。
- 小流行中 現在、咽頭結膜熱の小流行が続いています。

風しんの報告が続いています。

2019年は8月4日までに2061例の風しんの報告がありました。患者の多くは昨年同様、30～50代の男性で、都市圏を中心に報告されています。

○風しんの症状

- ・症状：発疹、発熱、リンパ節の腫れ等がみられます。3日～1週間程度症状が続き、解熱後、発疹が消滅します。
- ・潜伏期間：2週～3週間
発疹が出る1週間前から発疹が出た1週間くらいまで感染力があるといわれています。
- ・治療：特異的な治療法はなく、対処療法がおこなわれます。
- ・感染経路：飛沫感染（咳やくしゃみのしぶき）、接触感染



○予防するには

特異的な治療法がないため、感染しないように予防することが大切です。感染を防ぐ最も有効な方法は、予防接種を受けることです。また、感染経路は飛沫感染、接触感染のため不用意に人混みに出かけることは避けましょう。帰宅したら手洗い・うがい等を行うように心がけましょう。

予防接種を受けましょう。

○予防接種受けていますか？

- ・予防接種は生まれた日や性別によって定期予防接種の対象になった時期が違います。母子手帳等で予防接種を受けた記録を確認しましょう。
- ・現在、風しんは定期の予防接種となっています。時期をずらして2回予防接種を受ける必要があります。第1期：1歳以上2歳未満 第2期：5歳以上7歳未満の者であって、小学校就学前の1年間
- ・定期予防接種以外にも自己負担で予防接種をうけることは可能です。希望される場合は主治医に相談しましょう。

○風しんの第5期予防接種が開始になりました。

- ・2018年以降、風しんの患者が増加していることを受け、これまで公的な予防接種を受ける機会がなく、風しんの抗体保有率が他の世代より低い世代を対象に風しんの抗体検査及び予防接種を実施します。
- ・対象は昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男性です。
- ・対象者にはお住まいの市町村よりクーポン券・お知らせ等が送付されます。

この情報に関するお問い合わせ先：県中保健福祉事務所 医療薬事課 感染症予防チーム
TEL:0248-75-7818 E-mail:kenchu_kansensyoyobou@pref.fukushima.lg.jp